

2005
10.17

博物館ニュース

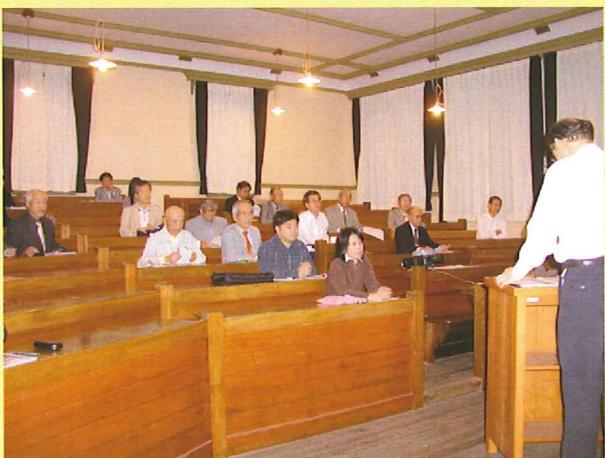
平成17年度公開講座 『科学の創造・芸術の発明』終了

10月1日から毎週土曜日、3週に渡っての公開講座『科学の創造・芸術の発明』が無事終了いたしました。今回は2日目から講座終了までの様子を報告します。

第2日目

「コンピュータによる
写真織りの技術」
講師：山口英夫
(株) 織元山口代表取締役

写真織りについて、会社経営の戦略を交えた興味深い話でした。講義中は写真織りによる織物が受講者の間にまわされ、皆さん手にとって触れていただきました。



「風景画の発明」
講師：元木幸一
山形大学人文学部教授

この時間は特別に重要文化財に指定されている、旧米沢高等工業学校本館の階段教室を会場に講座を行いました。クラシックな建物の中、ランプの淡い光に照らされ、明治時代にタイムスリップしたような雰囲気で風景画を味わいました。

第3日目

「有機EL開発物語」

講師：城戸淳二

山形大学工学部教授

有機EL開発で世界的に有名な城戸教授の講座。4コマ漫画などを交えて、基礎知識がなくても充分理解でき、楽しめる内容でした。最後にはTVで紹介された時のDVDが上映され、城戸教授の研究に対する思いを垣間見ることができた講座でした。

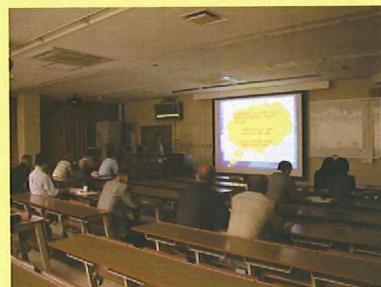


「芸術を科学の力で未来へ ～文化財保存科学の世界～」

講師：松田泰典

東北芸術工科大学教授

文化財の修復、保存とは？と考えさせられるテーマでした。科学的な調査についての話の時は本館が所蔵する椿貞雄作《菊子遊戯之図》が例として説明され、さまざまな面からの調査方法を紹介していただきました。



閉講式・終了証書授与式の様子



3週に渡る講座が終了しました。閉講式では修了証書が受講生代表に手渡されました。アンケートで講座に対する感想を受講生の方からいただきましたが、大変好評でした。来年も是非いらしてくださいと願いつつ、公開講座の報告を終了いたします。